



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2020年(令和2年)9月25日号 No.1837

目次

■ コロナ禍のロシア経済 —エネルギー・対外関係への影響—	1
■ 新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応	ROTOBOモスクワ事務所 16
■ エトセトラ	28
カザフスタン有望プロジェクトに関するオンラインイベント開催のご案内／28	
STSフォーラム・日ロワークショップの開催／28	
■ トピックス	28
舞鶴と韓国・ロシアを結ぶフェリー航路新設／28	
日ロ企業が地球観測データの活用で協力／28	
NIS諸国の新型コロナウイルス関連ニュース／29	

コロナ禍のロシア経済 —エネルギー・対外関係への影響—

はじめに

2020年9月14日(月)、16日(水)、18日(金)の3日間にわたり、ロシアNIS貿易会では、ロシア・カザフスタン・アゼルバイジャンの経済・エネルギー専門家による連続ウェビナー「ロシア・カスピ海産油国石油産業へのコロナ禍の影響」を開催した。

コロナ禍により世界経済全体のヒト・モノの動きが大きく制限される中、産業活動や物流に不可欠である石油・ガス、そしてそれらから精製される燃料需要が減退し、ロシアをはじめとするCISの産油・産ガス国の経済にも広く影を落としている。また、コロナ禍の問題とともに世界情勢も大きく動いており、これら諸国と大国、周辺諸国との経済関係の変化にも注目しなければならない。このような状況を踏まえ、経済・エネルギー・国際経済関係と多様な分野の現地専門家6人によるオンライン講義を実施した。本稿ではその中から4人のロシア人専門家の報告要旨をご紹介しますこととしたい。

なお、講義は7月末に収録されたものであり、質疑応答はウェビナー当日にライブで行われたものである。